

# 被災地支援だより

第 33 号 2016年4月24日

Tel. 042-482-3937/[sdbchofuchurch@donbosco.jp](mailto:sdbchofuchurch@donbosco.jp)/<http://chofu-church.ciao.jp>

調布教会信徒の片瓜和夫さんは、ほぼ毎月ボランティアとして被災地を訪れていらっしゃいます。1月、2月、3月に行かれた時の活動報告をしてくださいました。

## 【1月】

1月11日は祭日だったので午前8時頃調布を出た。今回は玉林さん、原さんと片瓜の3人で玉林さんの車で他の被災地のその後を見学しながら行くことになった。

陸前高田のベルトコンベアは9割方解体されて、奇跡の松の向こう側には12メートルの堤防が築かれていた。その向こうの海はまったく見る事が出来なかった。

出発の時は暖かだったが、陸前高田に着く頃には雪がちらつき始め、東北本来の寒さになった。

1月12日

・釜石教会でミサ 6:50～

・安渡第2仮設 10:00～11:30

安渡、赤浜地区は海に近く、盛り土が進み、行く毎に前の道が盛り土の下になり、新しい道筋になる。バス停も遠くなり、公共施設の建設の為に、生活する場も狭くされ大変な思いをしている。小国ヤスさんら、2人が待っていてくれた。さっそく支度してマッサージ開始。

今回はいつもより人数が少なめだったので、一人一人丁寧に施術出来た。

気になったのは、小国兼太郎さんがいつもより疲れていることだった。刺し子を頑張りすぎたらしい。終わるまでには、ほとんどいつものメンバーが来てくれた。

女性7名 男性2名

・大槌第3仮設 14:00～15:30

大槌川の上流に車で20分くらい行った所の仮設であるが、周りは田んぼに囲まれ環境的には安渡や赤浜地区より平らな土地が多い。着いてみると、症状が重い方が2人来ていない。

他の人に聞いたら病院の診察日とのこと、間に合ったら来る、とのことだった。後になって聞いたが家の人に話したら、「バッチャン行かなければだめ！」と怒られて、お孫さんに送ってもらったそうである。有り難い、家の方に感謝した。

もう一人も後からやって来て少しホッとしました。時間ぎりぎりまで施術、少し疲れた。

女性8名、男性1名

- ・分ち合い 17:30～
- 参加者 長崎教区 シスター 2名  
調布教会 玉林さん、原さん、片瓜  
スタッフ 亀岡さん

- ・骨折して役に立てなかったが、皆が気さくに話してくれた。(原さん)
- ・今回は少し疲れた。(片瓜・・・早々に風呂に入り寝た)

1月13日

- ・釜石教会でミサ 6:50～(御血も拝領した)
- ・赤浜第3仮設 10:00～11:30

まずは皆でラジオ体操で体をほぐす。  
ここでは腰の痛み、ひざの痛み、腕の  
疲れなどが訴えられた。膝は平らな所  
を歩くのが良いのだが、安渡、赤浜に  
は平らな所がほとんどないので、アドバ  
イスが難しい。この仮設には震災の  
後生まれた子供を連れてきたお母さんも来  
る。子供は場の雰囲気を一気に明るく  
してくれる。人数が多く大変だったがと  
ても有意義な活動が出来た。



女性 11 名、子供 2 名

- ・安渡第3仮設 13:00～14:30

この仮設は半分は復興住宅や自宅をたてて引っ越した方々が多い。全員が移った後のボランティアの方法も、考える必要がある。鈴木木のバッチャンが入院したとのことで心配だ。

女性 5 名、男性 1 名

- ・分ち合い 17:30～
- 参加者 長崎教区 シスター 2名  
調布教会 玉林さん、原さん、片瓜  
スタッフ 亀岡さん

- ・お茶っ子に来る理由「皆で話が出来て楽しい」を聞くことが出来た。
- ・大変なことをいろいろ話して下さった。
- ・ボランティアの方法を考え直す時期が来ている。(スタッフ)
- ・子供たちのサポートが必要。(シスター)

1月14日は早めに帰った。途中でスタッフの亀岡さんがメールにて、スーパーで買い物をしていた時に地元の人に「今度マッサージの先生何時来るの？」と聞かれた旨連絡して下さった。

4年間実行してようやく定着してきた思いがしてきた。神に感謝

## 【2月】

今回は玉林さん、高浪さんと片瓜の3人で夜行バスに乘車して訪問した。片瓜は池袋21時35分、秋葉原で玉林さんと高浪さんと合流した。

2月16日

### ・安渡第2仮設 10:00～11:30

安渡、赤浜地区工事がさらに進み、仮設はさらに狭くなっていた。いよいよ仮設の統合も始まるらしい、否が応でも新しいフェーズに入っていくようだ。周りの環境はどうしようもなく変化していく中で、彼らはどんな思いで過ごしているのだろうか。今回も小国ヤスさんが元気に迎えて下さった。施術の途中で93歳の小国兼太郎さんが私を、先生お疲れ様です、と言って肩のマッサージをして下さった。本当に嬉しかった。元小学校であったこの仮設の周りは桜や多くの木々で囲まれていた。それも公共の施設の建設の為1本の桜を残して全部伐採された。寂しいものがある。

↓小国兼太郎さんにマッサージを受け喜ぶ



女性6名 男性2名

### ・大槌第3仮設 14:00～15:30

既に3人のバッチャンが待っていて下さって、とても嬉しかった。比較的平坦なこの仮設では、症状が重い方でも手押し車を押してやって来て下さる。前回、次はもう少し早めに来てね、とお願ひした方は、先生来たよ！と笑って迎えて下さった。やりがいが出る。

女性9名

### ・分ち合い 17:30～

参加者 長崎教区 シスター 3名  
調布教会 玉林さん、高浪さん、片瓜  
スタッフ 西館さん

- ・今回は別の教会からアクセサリを仮設の方々と作成するかなりお歳の舟木さんと宮原さんがいらしていたが、これで最後になるかな、とおっしゃっていた。
- ・安渡第2仮設で刺し子をいただいた。嬉しかった。
- ・マッサージを気持ちよさそうに受けているのが見られた。望まれている。(シスター)
- ・すんなりお茶っ子の中に入って行くことが出来た。(シスター)

今回から、長いこと活動をしているので、これまではシスター方には平服に着替えてから参加して頂いていたが、制服のまま参加していただいた。違和感もなく迎えていただけた。

2月17日

- ・ ベースでミサ 7:00～
- ・ 赤浜第3仮設 10:00～11:30  
いつものラジオ体操を終えてから、どんどん人が来る。赤ちゃんを連れてお母さんが二人、おばあちゃんが一人、なんと3歳以下の赤ちゃんが4人になった。ボランティアを始めて、て初めての経験をさせてもらった。皆で赤ちゃんの世話をすることになった。とても有意義だった。時間は押したがとても気持ちよかった。

女性14名、赤ちゃん4名



↑ 子供や赤ちゃん4人 一気に明るくなる

- ・ 安渡第3仮設 13:00～14:30

鈴木のパっちゃん、ようやく復帰してくれた。今回は病み上がりなのでさする程度の施術をした。息子さん夫婦は4月から、発掘(縄文遺跡)に行くのでしばらく休みになるとのこと。被災者たちはこの様に、アルバイト、刺し子、編み物、小物作成等を行っている。

女性6名、男性1名

- ・ 分ち合い 17:30～

参加者 長崎教区 シスター 3名  
イエズス会の神父様 小暮  
神父様  
調布教会 玉林さん、高浪さん、片瓜  
スタッフ 西館さん

- ・ 姿を見せない男性たちが何を考えているか気になる。(神父様)
- ・ 港の店で、丁度税金を夫婦でおさめに行っていて、津波に合わなくて済んだ話を聞いた。
- ・ 仮設のおばあちゃんに、ぬいぐるみを作って頂いた。
- ・ 久しぶりに会った鈴木のパっちゃんとおもわず握手してしまった。(玉林さん)
- ・ 元々の土地を被災者から高く買い上げる必要があるのでは？。(シスター)  
神父様が神学生をつれていらしていた、大槌へ来る前に福島にいらしていたとのこと。かなり色々な話をお伺いすることが出来た。



↑ 風の電話の前で、長崎のシスター2人

## 【3月】

3月14日、今回は玉林さん、高浪さん、町田さんと片瓜の4人で夜行バスで訪問した。  
片瓜、町田さんは池袋 21 時 35 分、秋葉原で玉林さんと高浪さんと合流した。

3月15日

### ・安渡第2仮設 10:00～11:30

安渡、赤浜地区工事がさらに進み、仮設はさらに狭くなっていた。いよいよ仮設の半分は、別の仮設に移るそうである。

今回のシスター3人は各修道院の院長様達であった。さすがに、御三方はすぐに仮設のバッチャンたちとすぐに打ち解けお話をなさっていた。ヤスさんは早速彼女のノートに記入してもらっていた。

女性6名、男性2名

### ・大槌第3仮設 14:00～15:30

スタッフが忙しいので、かなりの部分を任せられ責任を感じた、吉田さんは午後から参加。新しい方が一人増えた、症状が悪かった方も少し良い方向に向いてきた。皆とても楽しそうに話して下さっている。西館さんは知り合いの方がいるので忙しい中で少し顔をだして、コミュニケーションをとっていた。

女性9名

### ・分ち合い 17:30～

参加者 長崎教区 シスター 3名  
北浦和教会 吉田さん  
調布教会 玉林さん、高浪さん、町田さん、片瓜  
スタッフ 西館さん

- ・小国夫妻に感激した。覚えていただいていた。(町田さん)
- ・これからも続けて行きたいと強く感じた。
- ・顔を覚えてもらった、と感じた。(高浪さん)
- ・持続がすばらしい。(シスター)
- ・交流を見て信頼を見た。(シスター)

当日小松神父がツアーを組んで4人くらいの信者さん達とベースを訪問していた。

3月16日

### ・ベースでミサ 8:00～

### ・赤浜第3仮設 10:00～11:30

今回は赤ちゃんは来なかったが、次から次へと患者さんが来て時間も大幅にオーバーしたが、それなりに充実していた。仮設が縮小するのに伴い支援員さんの数も縮小されていく。ここの支援員さんも今回が最後になるとのこと。少ししみりしてしまった。

女性15名

・安渡第3仮設 13:00～14:30

昼食もそこそこに出発した。鈴木のパッチャンも出てきてくれた。この仮設も今年いっぱいくらいだそう。別の奉仕の方法を考える時期になって来ている事が感じられる。ここにきてロコミで増えたのか施術にくる人が増えてきている感がある。

女性7名、男性1名

・分ち合い 17:30～

参加者 長崎教区 シスター 3名  
北浦和教会 吉田さん  
調布教会 玉林さん、高浪  
さん、町田さん、片瓜

- ・仮設から復興住宅に移った後の活動を考える必要がある。
- ・仮設で中心になってくれている人がシスターたちを受け入れて下さっている。
- ・仮設によって雰囲気違い、絆が暖かく感じられた。その中にいれてもらったことが嬉しい。(シスター)
- ・支援員の方が明るく迎えて下さった。それによっても大分違うと思えた。「継続は力」の言葉を感じた。(シスター)



↑ 神父様がいらっしゃる時にはここでミサに与る

1月16日～2月15日まで出生数は3人、死者は21人である。ここ1年町報をみてきたが死亡者の数が10名を割る事はめったにない。これから、よりそう支援となって来ると思うのだ。

### 【東日本大震災被災者の方々のためのロザリオ】

2011年3月11日に起こった大震災の被災者の方々、未だに仮設住宅で生活されている方々、現地で懸命に活動されている方々のために、有志と共にロザリオの祈りを捧げています。まだまだ祈りを必要とする被災地の方々のために、神様の導きと支えを願いたいと思います。どなたでもご参加いただけますので、是非ご一緒に祈りましょう。

日時：毎週木曜日 午後5:50～6:20 サレジオ神学院地下聖堂にて